

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ

(米国FOMC 緊急1%利下げ)

2020/3/16

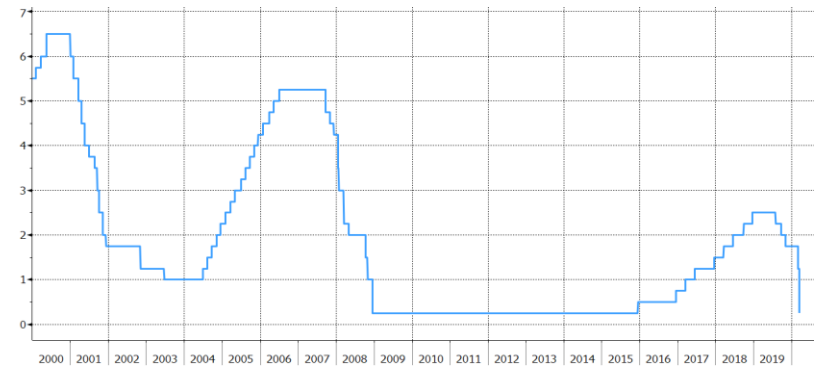
りそなホールディングス 市場企画部

○概況

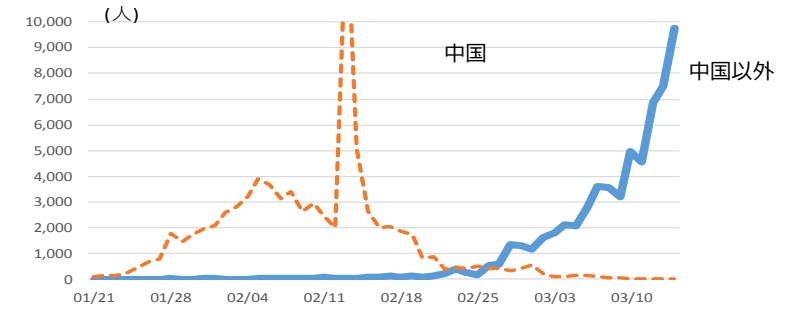
- ◆ 政策金利を1.00%引き下げ、誘導水準を0.00～0.25%とした。実質ゼロ金利政策の導入。(反対1)
 - ◆ 資産買入の積極化。目先数カ月で、米国債5,000億ドル、MBS2,000億ドルの保有を増やす
 - ◆ 6中銀によるドルの流動性供給を実施
- ✓ FRBは3/15(日本時間16日6時)に17-18日に実施予定であったFOMC(連邦公開市場委員会)を前倒しで開催。**政策金利を1.00%引き下げ、誘導水準を0.00～0.25%とした(反対1)**。利下げは3日の0.5%の緊急利下げに次ぐ措置。また資産の買入を積極化。**目先数カ月で米国債5,000億ドル、MBS2,000億ドル保有を増やすことを決めた。**
- ✓ 流動性面でも6中銀(FRB、日銀、ECB、英中銀、カナダ中銀、スイス中銀)によるドル流動性供給策を協調して実施することを発表。現行の1週間物に加え、3カ月物のドル供給を実施することを公表した。適用金利基準についても0.25%引き下げた。
- ✓ 声明文では、**新型肺炎の感染拡大により、米国を含む多くの国で、景気にダメージがあり、世界的な金融環境に悪影響があることが指摘された。**先週末はトランプ米大統領が非常事態を宣言し、500億ドルのウイルス対策、学生ローンの利息免除、石油備蓄の拡大等の政策パッケージを打ち出した。金融政策としても更なる緩和措置が必要との判断に至ったのであろう。
- ✓ FRBによる積極的な緩和スタンスは引き続き金融市場には一定の安心材料となるが、**新型コロナウイルスへの対応として金融政策の効果には限界がある。**先週末の米国金融市場はトランプ米大統領による政策パッケージが好感され、米国株は急反発。一方、本日の緊急利下げ後の日本株はドル円が円高にシフトしたことも重石となり、上値の重い動きとなっている。**欧米の感染者拡大動向、VIX(米国株の変動率指数)の落ち着きどころが引き続き注目される。**

米国政策金利

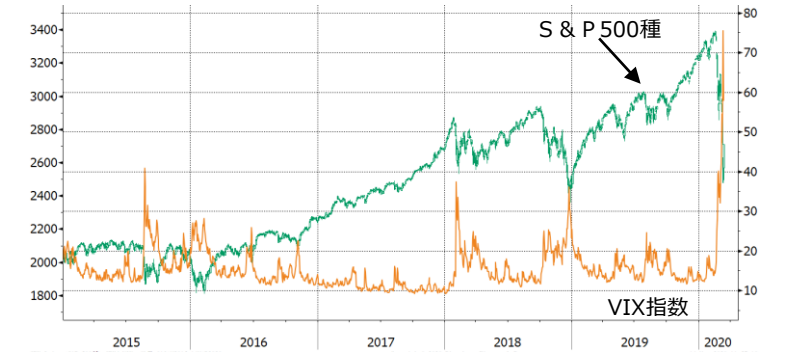
【出所】FOMC、bloomberg



新型コロナウイルス感染者数(前日差、人)



米国株式市場とVIX指数



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。